

KPO香港レポート 2018年5月

KPO香港事務所／佳日遊有限公司/伏原健一郎
Tel: 852-2395-0960 Fax:852-2661-2860
E-mail: kfushi@mixwellnet.com

<トピックス>

1. 海外旅行全般

■概要

- 香港国際空港は、一部施設のリニューアルに乗り出す。向こう2年で駐機場を34カ所増設するほか、運用開始から10年が経つ第1ターミナルの飲食エリアでは改修工事を来月から始め、店舗数、座席数ともに増やす計画。2030年の年間利用客数が17年実績比で40%増えると予想される中、旅客数の増加に対応するのが狙い。
- 香港政府観光局が4月30日発表した3月の香港への旅行者数は、前年同月比8.9%増の499万5,122人（延べ人数、以下同じ）だった。2カ月連続のプラス成長。国・地域別で見ると、日本は10.4%増の14万4,709人と好調。前月からプラスに戻し、旅行者数ベースで3位を記録した。
- 香港空港管理局によると、香港国際空港の4月の旅客数は前年同月比0.8%増の631万9,000人（延べ人数、以下同じ）だった。航空機の発着回数は1.8%増の3万5,365回。4月は香港を訪れる旅行者が10%増え、全体の伸びに貢献した。中国本土や日本を往来する旅客数の伸びが目立った。
- 4月29日～5月1日の労働節連休に香港を訪れた中国本土客は59万9,092人に上った。前年同期（49万273人）から10万人以上増え、直近6年間で最多を記録した。人民元高・香港ドル安の流れもあって、本土客の消費意欲は旺盛で、本土客に人気の高い化粧品や宝飾品などの販売は好調に伸びた。
- 香港の航空大手、キャセイパシフィックグループは24日、マイレージプログラム「アジア・マイル（亜洲万里通）」を強化すると発表した。6月22日以降に出発するフライトから、キャセイパシフィック航空とキャセイドラゴン航空の航空券の8割を対象に、より多くのマイルを加算する。
- キャセイドラゴン航空は、今年10月28日に香港－フィリピン・ダバオ、翌29日に香港－インドネシア・メダンを結ぶ直行便をそれぞれ就航する。ダバオ線は、火・水・金・日曜の週4便を運航する。メダン線は、月・木・土曜日の週3便を運航する。
- 香港政府観光局は6月22日から24日まで、中国香港竜舟総会と共同で第9回を迎える「2018香港ドラゴンボート・カーニバル」を開催する。4500人以上の選手がビクトリア・ハーバーに集結。今年は粵港澳大湾区からチームが参加し、新設されたグレーターベイエリア杯で戦う。

2. 訪日旅行全般

■概要

- 日本政府観光局が17日発表した4月の訪日香港人は、前年同月比14.1%減の17万9,900人（推計値、以下同じ）だった。航空座席供給量の増加など訪日需要を下支える要因はあったものの、昨年4月にあったイースター連休が今年は3月末からとなった影響で前年同月を下回った。
- 香港政府が東京電力福島第1原発事故の発生直後から続ける福島、茨城、栃木、群馬、千葉5県の一部食品の輸入停止措置について、11月までに福島を除いて解除する方向で検討していることが分かった。日本政府は福島も含めた全ての規制撤廃を求めている。
- 香港の小中学校は学生の将来計画を重視しており、親も子供の趣味や夢を理解しなければならない。EGLは親子約束の旅を提供し、大阪の職業体験型テーマパーク「キッザニア」は子供の夢を早めに実現できる。また日本初の名古屋にあるLEGOLANDは、7つのエリアに分かれており、他のテーマパークよりもっと教育的意義がある。
- 関西初、京都でオープンしたコーヒー界のAPPLEと呼ばれる「BLUE BOTTLE COFFEE」、2019年に全面オープン予定の日本最大級のサイクリングリゾート「PLAYatre」、4月28日オープンした名古屋の「レゴランド・ジャパン」のホテルと水族館、比叡山とびわ湖をつなぐ叡山電車の新観光車両「ひえい」などを紹介。